

今年度の進路相談・指導を振り返って

平成25年度 中学部卒業生の進路先 (平成26年3月6日現在)	総数	守口市在住	門真市在住
守口支援学校	7	7	
寝屋川支援学校	19		19
	26	7	19

※中学部生徒の進路は上記のようになりました。

平成25年度 高等部卒業生の進路先	総数	守口市 在住		門真市 在住		寝屋川市 在住
		男	女	男	女	男
守口市立わかたけ園（生活介護）	1	1				
ジェイ・エス守口（就労継続支援B型）	2	2				
ういず守口（生活介護）	1		1			
ういず守口（就労移行支援）	1				1	
ひだまり（生活介護）	1		1			
ひだまり（就労継続支援B型）	1	1				
きくすい（生活介護）	1		1			
サニーデイ（就労継続支援B型）	1			1		
ジェイ・エス ステージ（生活介護）	2		1	1		
第2ジェイ・エス ステージ（生活介護）	1			1		
グレース工房（就労継続支援B型）	1				1	
えるちゃん（生活介護）	1	1				
ワークセンター小路（就労継続支援B型）	1					1
おはなの作業所（就労継続支援B型）	1				1	
私の太陽農園（就労継続支援B型）	4	4				
オールケア生活介護センター旭（生活介護）	2	1	1			
つるみの郷（生活介護）	1		1			
つるみの郷（就労移行支援）	1				1	
株式会社U&S 業務スーパー上新庄店	1	1				
株式会社フレンドリー 守口大日店	1	1				
株式会社しまむら 古市店	1		1			
株式会社京阪百貨店	1	1				
社会福祉法人三養福祉会 四宮三養苑	1	1				
未定	1		1			
18期生	30	14	8	3	4	1

「福祉就労関係」

平成25年春より新たに障害者総合支援法が施行されました。具体的には障害程度区分の聞き取り項目を見直し、より障がい特性に応じた区分の認定をめざす「障害支援区分」や障害福祉サービス利用等の申請に係る支給決定前にサービス等利用計画案を作成、調整する「計画相談支援」などの整備が始まっています。進路先でのモニタリング（一定期間ごとに行う利用状況の検証と計画の見直し）を通じて、本人ニーズに適した、より充実した日中活動を実現していくことや生活全般を見渡した適正な福祉サービス利用をめざしていくという新制度に対する大きな期待がかかります。

今年度も高3年の進路決定にあたり「日中活動の場」となる地域福祉事業所と連携を密にとりながら、情報交換や相談・調整に努める中、上記の進路先一覧のような結果となっています。依然、地域の各事業所の定員飽和状態はかなり深刻な課題ではありますが、各市専門部会での情報発信に努める中、地域関係機関には共通課題と受け止めて頂いています。そのような地域連携をベースに、学齢期から成人期への移行、いわゆる社会への第一歩を踏み出す本校卒業生の利用については、各事業所が工夫しながら優先的に相談調整して頂きました。

昨年度あたりから増えてきている守口、門真市に隣接する他市の福祉事業所（特に生活介護や就労継続支援B型）の利用ケースが今年度も引き続き増加傾向にあります。今後も校区内の福祉事業所との連携充実と並行して、個々の生徒の居住地や活動内容のニーズに合わせた、きめ細かい進路相談が進められるように周辺地域の福祉事業所の新規開拓に努めていきたいと考えています。

また、今年度より卒業後すぐの就労継続支援B型の利用にあたって学校より各市審査会に意見書を提出し、協議の上、支給決定をして頂くことになりました。

このような状況から、地域福祉資源の充実・確保や計画相談におけるプランニングと進路相談の連動など、今後も各市障がい福祉課や相談支援事業所と協働していく必要性を強く感じています。特に次年度は実施予定の計画相談支援が当面の大きな課題となります。本人や保護者の方と共に取り組む丁寧な進路相談を心がけながら、次年度以降も地域の関係機関と連携を取り、学校生活から社会生活への円滑な移行に努力していきます。

「企業就労関係」

平成25年4月より障害者雇用率が2.0%に引き上げられるなど、障がい者の就労支援については少し明るい見通しを持ちながらスタートをきった年度でした。本校高等部ではコース制を活用しながら各コースでの学習に企業実習や作業学習を組み込み「働きたい!」という意欲や姿勢を育てています。このような学習の積み上げをベースに、今年度も表面の結果どおり、職業コースの生徒5名が企業就労となりました。

従来、本校では「就職ではなく、将来的な職場定着が目標」という捉えで、本人にマッチングした職場開拓、進路学習に努めています。これには地域の就労支援機関であるハローワーク門真、北河内西障害者就業・生活支援センター わーくぷらすとのトライアングル体制が欠かせません。特に卒業後の職場定着支援には両機関に多大なご尽力を頂いています。今年度の職場開拓は先輩達の職場定着が現役生の学習実績の信用に結びつき、すでにお世話になっている企業との採用相談であったのが特徴と言えます。

また、卒業生のアフター支援を振り返りますと、安定した職業生活自立を実現するには、ご家庭のサポートが必要不可欠と痛感しています。今後も学校や就労支援機関との更なる連携をお願い致します。

【PTA全体懇談会資料より】

18期生の皆さん!いよいよ卒業式を迎える今の心境はいかがでしょう。自信たっぷりに「行ってきます!」という人もいれば、緊張と不安で控え目がちに「頑張ります…。」という人もいるのではないのでしょうか。大丈夫ですよ。これから皆さんが通い、お世話になる進路先には必ず新しい出会いがあります。守口支援学校で多くの友達や先生と一緒に様々なことに取り組み、一步一步前に進んできたように、次のステージでも焦らず“自分らしく”頑張ってください。

そして、もし困ったことができたなら、いつでも相談してください。この地域には我々、守口支援学校をはじめ、いつでもすぐに応援に駆けつける仲間がたくさんいます。卒業時に返却する「個別の教育支援計画」も活用しながら相談のできる人をたくさん作ってくださいね。

それでは卒業生の皆さんの新天地での活躍を期待しております。次回は進路先で“笑顔”でお会いしましょう!

ご卒業おめでとうございます。

(進路担当 藤川泰生/木下陽子)